

《雪どけ時季の事故防止》 もう春と ゆるむ心が 事故のもと

- 冬の道と春の道が混在！ 凍結路面を想定した運転をしましょう
- 人や自転車が活発になります、交差点付近では、特に周囲をよく見る
- そろそろ自転車が…、自転車のふらつきや転倒に注意！
- 自転車を見かけたら、距離を空けましょう

《交差点事故をなくしましょう》

- ・黄色信号で交差点進入は、命取りになります 黄色信号は「止まれ」
- ・交差点手前で、黄色信号の場合は、加速しないで停止する

漫然運転、居眠りに注意しましょう **2時間走行15分休憩!**

《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

路地から出てきた 小学生の自転車と走行中の車が衝突

男児は転倒し、臀部亀裂のケガ

「大丈夫？」と声かけ、救護することなく走り去る

ひき逃げ事件として警察が行方追う

◇防犯カメラや目撃情報がある今の時代、すぐに捕まるのに…◇

◇もしも、もしも、もしも、…のときは…まず、救護◇

◇そして…、警察に連絡◇

◇もしも…にならないように、『わき見運転』、『漫然運転』はせずに、『運転に集中』しましょう◇

2026/3/4(水) 10:41

1日午後3時50分ごろ、沖縄県の市道交差点で、走行中の車が、路地から出てきた自転車と衝突した。自転車に乗っていた男子小学生(8)が転倒し、臀部裂傷などのけがを負った。車の運転手は救護措置などを取らずに走り去ったという。警察がひき逃げ事件とみて車の行方を追っている。警察によると、車の運転手は60~70代の女性とみられる。運転手は「大丈夫？」と声を掛けたが、男児が「大丈夫です」と答えたことから、そのまま車で走り去ったという。帰宅した男児から話を聞いた保護者から110番通報があった。

早朝6時 故障で停車していたトラックに 後続のトラックが追突

外に出て発煙筒をたこうとしていた男性

巻き込まれて負傷、救急搬送

◇前方で…何が起こるかわかりません 車間距離を十分にとり、わき見は厳禁◇

2026/3/3(火) 7:57

3日午前6時半ごろ、福島県の東北道で、トラック同士が衝突する事故がありました。故障のため停車していたトラックに後続のトラックが衝突し、外で発煙筒をたこうとしていた男性運転手(40代)らが巻き込まれて負傷、救急搬送されたということです。

早朝5時半

男性が国道の横断歩道を渡り切る手前で 仕事に向かう途中の乗用車にはねられ、重体

◇夜間、早朝は、歩行者・自転車を見落としやすくなります◇

◇夜間、早朝、「人はいないだろう」と…漫然と運転することは危険です◇

◇ヘッドライトをこまめに切り替え、遠目ライトで早期発見！ 事故防止◇

2026/3/4(水) 11:58

4日午前5時半ごろ、三重県の国道で横断歩道を歩いて渡っていた60代くらいの男性が、左から直進してきた乗用車にはねられ、頭などを打ち病院に運ばれ、意識不明の重体です。乗用車を運転していた男性(83)にケガはなく、仕事に向かう途中だったということです。男性は片側1車線の道路を渡り切る手前ではねられていました